（別紙様式４）

令和7年6月30日

# 職業実践専門課程等の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 |
|---|---|---|---|
| 専門学校ちば愛犬動物フラワー学園 | 平成11年3月29日 | 西村 壽 | 〒 260-0021<br>（住所） 千葉県千葉市中央区新宿2-14-13<br>（電話） 043-242-0511 |
| **設置者名** | **設立認可年月日** | **代表者名** | **所在地** |
| 学校法人 中村学園 | 昭和41年8月15日 | 中村 洋子 | 〒 260-0021<br>（住所） 千葉県千葉市中央区新宿2-14-13<br>（電話） 043-242-0511 |

| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | 専門士認定年度 | 高度専門士認定年度 | 職業実践専門課程認定年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 文化・教養 | 文化・教養専門課程 | 動物管理科トリマーコース | 平成28(2016)年度 | － | 平成29(2017)年度 |

| | |
|---|---|
| 学科の目的 | 本校は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物の飼育看護及び植物の育成に関する知識、技能を修得させると共に、動植物の愛護の精神に深い理解を持つ、生命を慈しむ人間教育を行い、広く社会に貢献させ、国際感覚に富む教養を備えた社会人を育成し、社会、業界に寄与することを目的とする。 |
| 学科の特徴（主な教育内容、取得可能な資格　等） | 各専門分野の実習授業（プロトリミング・ドッグトレーニング・しつけトレーニング・キャットトリミング・騎乗トレーニングなど）を中心に、いきものに向き合うための技術と知識を学ぶ。同時に資格取得(JKC公認C級トリマーライセンス・ペットフード販売士・愛玩動物飼養管理士・キャットマイスターアドバンス・乗馬技能認定審査）に最適化したカリキュラムを用意し、合格までのサポート体制を構築している。この両軸を基本としながら、経験豊かな教員と企業連携により、即戦力となる人材育成を行う。 |

| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 年 | 昼間 | ※単位時間、単位いずれかに記入 1,837 単位時間 | 442 単位時間 | 225 単位時間 | 1,170 単位時間 | 0 単位時間 | 0 単位時間 |
| | | 96 単位 | 20 単位 | 38 単位 | 38 単位 | 0 単位 | 0 単位 |

| 生徒総定員 | 生徒実員(A) | 留学生数（生徒実員の内数）(B) | 留学生割合(B/A) | 中退率 |
|---|---|---|---|---|
| 360 人 | 440 人 | 1 人 | 0 % | 8 % |

**就職等の状況**

| | | |
|---|---|---|
| ■卒業者数（C） | : 207 | 人 |
| ■就職希望者数（D） | : 199 | 人 |
| ■就職者数（E） | : 195 | 人 |
| ■地元就職者数（F） | 130 | 人 |
| ■就職率（E/D） | 98 | % |
| ■就職者に占める地元就職者の割合（F/E） | 67 | % |
| ■卒業者に占める就職者の割合（E/C） | 94 | % |
| ■進学者数 | 0 | 人 |

■その他

（令和　6　年度卒業者に関する令和7年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和　6　年度卒業者）

トリミングサロン、ペットショップ、動物病院、動物テーマパーク

**第三者による学校評価**

■民間の評価機関等から第三者評価：　無

※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　受審年月：　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

**当該学科のホームページURL**

http://www.aik.ac.jp/

**企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）**

（Ａ：単位時間による算定）

| | |
|---|---|
| 総授業時数 | 1,837 単位時間 |
| うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 | 654 単位時間 |
| うち企業等と連携した演習の授業時数 | 0 単位時間 |
| うち必修授業時数 | 1,837 単位時間 |
| うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 | 654 単位時間 |
| うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 | 0 単位時間 |
| （うち企業等と連携したインターンシップの授業時数） | 0 単位時間 |

（Ｂ：単位数による算定）

| | |
|---|---|
| 総単位数 | 96 単位 |
| うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数 | 21 単位 |
| うち企業等と連携した演習の単位数 | 0 単位 |
| うち必修単位数 | 1,837 単位 |
| うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 | 21 単位 |
| うち企業等と連携した必修の演習の単位数 | 0 単位 |
| （うち企業等と連携したインターンシップの単位数） | 0 単位 |

**教員の属性（専任教員について記入）**

| | | |
|---|---|---|
| ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 | （専修学校設置基準第41条第1項第1号） | 12 人 |
| ② 学士の学位を有する者等 | （専修学校設置基準第41条第1項第2号） | 1 人 |
| ③ 高等学校教諭等経験者 | （専修学校設置基準第41条第1項第3号） | 0 人 |
| ④ 修士の学位又は専門職学位 | （専修学校設置基準第41条第1項第4号） | 0 人 |
| ⑤ その他 | （専修学校設置基準第41条第1項第5号） | 5 人 |
| 計 | | 18 人 |

| | |
|---|---|
| 上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数 | 5 人 |

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

・教育課程編成委員会を年度に2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善等の意見交換をする。
・各コースに特化した専門部会を年2回開催し、企業からの派遣講師を含めてカリキュラムに関する意見交換をする。
・ペット美容＆ショップ、動物病院、飼育・訓練、乗馬、フラワービジネス等、動物及び植物関連の業界の最新動向を調査分析し、各業界の第一線で即戦力として通用する人材育成プランや教育方法を研究する。
・現行カリキュラムの評価を行い、現代社会に適合した授業科目の改善案や新規導入案を提言する。
・業界に関する授業を導入し、動植物企業より技術者、人事担当者等を招いて授業を展開する。
・動植物企業と提携した外部イベントとインターンシップ活動を連携させ、幅広い視野と思考を身に付ける環境を設ける。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は校長又は副校長により召集され、教科担当の責任者から現行カリキュラムの説明と次年度へ向けての改善提案に対して、企業等の委員からの助言や修正意見等の集約を図る。それらの意見を参考にマネージャー会議で審議し、職員会議で説明して、校長又は副校長が次年度カリキュラム等改善策として決定する。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

| 名　前 | 所　　属 | 任期 | 種別 |
|---|---|---|---|
| 松原 賢 | マツハラプロジェクト　マネージャー | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年） | ① |
| 祖一 俊介 | 株式会社AHB | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年） | ③ |
| 小林 正希 | 株式会社COREZON　代表取締役社長 | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年） | ③ |
| 細田 信幸 | 専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園　顧問 | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年） | ③ |
| 花島 秀俊 | 有限会社キティボックス | 令和7年4月1日～令和9年3月31日（2年） | ③ |
| 千葉 山 | 専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園<br>事業本部長 | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年） | ― |
| 鈴木 一弘 | 専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園<br>事業副本部長 | 令和7年4月1日～令和9年3月31日（2年） | ― |
| 小園 達郎 | 専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園<br>就職室室長 | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年） | ― |
| 鈴木 友子 | 専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園<br>事業本部長付 | 令和7年4月1日～令和9年3月31日（2年） | ― |

※委員の種別の欄は、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）

年度内に2回開催（原則、毎年9月・3月）

（開催日時（実績））
第1回　令和6年9月11日　10:00～12:00
第2回　令和7年3月10日　10:00～12:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員から意見として、教員数を増やすことが容易ではない中で、いかに学生教育を行うかがカギとなってくる。教員をサポートしてくれる学生を作ることで、習ったことを教える機会を創出されることで理解が深まるだけでなく、後輩にとっては教員より身近な先輩から教えを乞うことができるメリットがある。今後先輩と後輩を組わせるバディ制度などを取り入れるを検討する。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習、演習等において実践的かつ専門的な能力を育成するため、産学連携においては最新の理論及び技術を積極的に導入している企業との連携を基本方針とする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師業務委託書と契約時間割に基づいて、各専門分野の実習授業等（プロトリミング・ドッグトレーニング・しつけトレーニング・キャットトリミング・騎乗トレーニングなど）を企業より派遣の講師が担当する。実習授業での技術試験や筆記試験、平常点を総合して各科目ごとでA（優）、B（良）、C（可）、F（不認定）の評価を実施する。週単位での授業内容確認と、反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年に2度、講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し授業運営方法、内容について共有、議論する。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科　目　名 | 企業連携の方法 | 科　目　概　要 | 連　携　企　業　等 |
|---|---|---|---|
| 業界インターンシップ | 4.【校外】企業等が主催するインターンシップ等（学科が主体的に企画していないものを指す。） | 動物病院やペットショップ、動物関連施設にてインターンシップを行い、現場のサービスを学ぶ。 | イオンペット株式会社<br>キャットオアシス<br>遠藤警察犬家庭犬訓練所<br>株式会社コジマ<br>ノーザンホースパーク |
| グルーミング実習2 | 2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当 | 1年次に学んだ基本的な技術を基礎に、多種多様なペットカットへ応用する。それぞれの犬種に合わせたペットカットスタイルを学び、AAVサロントリマー検定1級を1つの目標として、技術取得の為の実習を行う。一般モデル犬やブリーダー外部犬を用いる事で、接客や対応法、時間を意識した技術等を学ぶ。 | ペットハウスミミ |
| ドッグプレイニング | 2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当 | ドッグトレーナーとして動物愛護と適正飼養に関する専門的指導員の養成を目的にこれに答えられる精神、知識、技術、を身につけるための知識を習得する。 | 株式会社COREZON |
| テーマパーク演習 | 2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当 | 小動物園(本校)で飼育していない動物の扱い(大動物を含む)・エサの管理方法を学ぶ。実際のテーマパークでの接客と動き方　ふれあい、おやつあげ補助についての知見を深め、広い飼育スペースでの管理方法と日常でのルーティンについて理解する。 | 東京ドイツ村市原ぞうの国 |
| 騎乗トレーニング | 2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当 | 乗馬の基礎の修得 馬の動きに対する知覚力を身につける。馬とのコミュニケーションのとり方、マナー及び馬との信頼関係を築く。 | MerryGo有限会社 |

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学校研修については当校の教育理念である「動植物を愛し心豊かな社会づくりに貢献できる人間の育成」を根本とし、パートナーアニマルの健全な生活環境、万全な健康管理、本来の美しさとしっかりとした躾を確立する為、また育成管理している植物の自然美を最大限に引き出す為、年度初頭に各チームが年間研修計画を立て、技術的な内部研修や専門業界団体が主催する外部セミナー等の受講を推進し、更なる技術と指導力の向上を図る。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　D.I.N.G.O.プロコース　　連携企業等：（有)DORG
期間：　令和6年4月29日　　対象：動物管理科教員
内容　しつけ教室運営方法の実技と講習

研修名：　服部幸webセミナー 猫のトレーニング　　連携企業等：服部幸セミナー運営事務局
期間：　令和6年6月1日　　対象：動物管理科教員
内容　猫のトレーニング方法について

| | | | |
|---|---|---|---|
| 研修名: | 引退競走馬のリトレーニング講習会 | 連携企業等: | 公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会 |
| 期間: | 令和6年7月5日 | 対象: | 動物管理科教員 |
| 内容 | 持田裕之氏による『ナチュラルホースマンシップを取り入れた引退競走馬のリトレーニング講習会』 | | |
| 研修名: | 服部幸webセミナー 猫のトレーニング | 連携企業等: | 服部幸セミナー運営事務局 |
| 期間: | 令和6年8月17日 | 対象: | 動物管理科教員 |
| 内容 | 困った…猫が食べない どうする？ | | |
| 研修名: | JKC 義務研修会 | 連携企業等: | 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ |
| 期間: | 令和6年9月12日 | 対象: | 動物管理科教員 |
| 内容 | パピークリップⅡの実技講習 | | |
| 研修名: | アシスタント・インストラクタークラス | 連携企業等: | (有)DORG |
| 期間: | 令和6年10月7日～令和6年10月9日 | 対象: | 動物管理科教員 |
| 内容 | しつけ教室のアシスタントについて/講習と実技（全3日間） | | |
| ②指導力の修得・向上のための研修等 | | | |
| 研修名: | LIFOセミナー | 連携企業等: | (株)ビーコンラーニングサービス |
| 期間: | 令和6年4月12日 | 対象: | 全教職員 |
| 内容 | 全学生対象ビジネス共通科目指導「自己理解」プログラム | | |
| 研修名: | 中堅教職員研修 | 連携企業等: | 一般社団法人 千葉県専修学校各種学校協会 |
| 期間: | 令和6年8月6日 | 対象: | 全教職員(中堅教員) |
| 内容 | メンタルヘルス研修 | | |
| 研修名: | 新任教員研修 | 連携企業等: | 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団<br>一般社団法人 千葉県専修学校各種学校協会 |
| 期間: | 令和6年8月20日～令和6年8月23日 | 対象: | 全教職員(新任教員) |
| 内容 | 教員認定講習会 | | |
| （3）研修等の計画<br>①専攻分野における実務に関する研修等 | | | |
| 研修名: | いぬらぼ | 連携企業等: | FULFILL Dog salon |
| 期間: | 令和7年4月10日～ | 対象: | 動物管理科教員 |
| 内容 | ドッグトレーニング基礎知識学(全18回) | | |
| 研修名: | JKC 義務研修会 | 連携企業等: | 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ |
| 期間: | 2025年11月8日 | 対象: | 動物管理科教員 |
| 内容 | ベドリントン・テリアのトリミング | | |
| 研修名: | 乗馬指導者養成講習会 | 連携企業等: | 公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会 |
| 期間: | 令和7年6月9日～令和7年6月11日 | 対象: | 動物管理科教員 |
| 内容 | 一般市民に対して乗馬を安全で適正に指導できる乗馬指導者の養成 | | |
| ②指導力の修得・向上のための研修等 | | | |
| 研修名: | 中堅教職員研修 | 連携企業等: | 一般社団法人 千葉県専修学校各種学校協会 |
| 期間: | 令和7年7月31日～令和7年8月1日 | 対象: | 全教職員(中堅教員) |
| 内容 | 能動的学修 | | |

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価委員を年度に2回開催し、企業人、学識経験者、卒業生等からの第三者視点より学校運営の評価を行い、客観性、透明性の高い健全な学校運営を継続することを目的とする。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|---|---|
| （1）教育理念・目標 | ・学校の理念・目的・育成人材像<br>・学校における職業教育の特色<br>・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想<br>・学校理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等の学生・保護者等への周知<br>・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けての方向性 |
| （2）学校運営 | ・目的等に沿った運営方針の策定<br>・運営方針に沿った事業計画の策定<br>・運営組織や意思決定機能の明確化、有効性<br>・人事、給与に関する規程等の整備<br>・教務、財務等の組織整備等の意思決定システムの整備<br>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制の整備<br>・教育活動等に関する情報公開<br>・情報システム化等による業務の効率化 |
| （3）教育活動 | ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等の策定<br>・教育理念、育成人材像の業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の明確な確保<br>・学科等の体系的なカリキュラムの編成<br>・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等<br>・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等<br>・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）の体系的な位置づけ<br>・授業評価の実施・評価体制<br>・職業教育に対する外部関係者からの評価<br>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準の明確化<br>・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけ<br>・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保<br>・関連分野における業界等との連携において優れた教員の確保をする等のマネジメント<br>・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の育成等資質向上のための取り組み<br>・職員能力開発のための研修等 |
| （4）学修成果 | ・就職率の向上に向けた取り組み<br>・資格取得率向上に向けた取り組み<br>・退学率低減に向けた取り組み<br>・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握<br>・卒業後のキャリア形成への効果を把握した学校の教育活動の改善への活用 |
| （5）学生支援 | ・進路・就職に関する支援体制の整備<br>・学生相談に関する体制の整備<br>・学生に対する経済的な支援体制の整備<br>・学生の健康管理を担う組織体制<br>・課外活動に対する支援体制の整備<br>・学生の生活環境への支援<br>・保護者との適切な連携<br>・卒業生への支援体制<br>・社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備<br>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組み |
| （6）教育環境 | ・教育上の必要性に十分対応するための施設・設備の整備<br>・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等についての十分な体制<br>・防災に対する体制の整備 |
| （7）学生の受入れ募集 | ・適正な学生の募集活動<br>・学生募集活動における教育成果の正確な伝達<br>・学納金の妥当性 |

| | |
|---|---|
| （8）財務 | ・中長期的な学校の財務基盤の安定性<br>・予算・収支計画の有効性、妥当性<br>・財務についての適正な会計監査<br>・財務情報公開の体制の整備 |
| （9）法令等の遵守 | ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営<br>・個人情報に関し、その保護のための対策<br>・自己評価の実施と問題点の改善<br>・自己評価結果の公開 |
| （10）社会貢献・地域貢献 | ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献<br>・学生のボランティア活動の奨励、支援<br>・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等の積極的な実施 |
| （11）国際交流 | ・留学生の受け入れ・派遣についての戦略<br>・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等においての適切な手続き等<br>・留学生の学修・生活指導等についての学内における体制の整備<br>・学修成果が国内外で評価される取り組み |

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

・外部委員より指摘のあった3-3について動物看護科のみで作成されいるカリキュラムツリーを、動物管理科、植物管理科に於いても作成することを検討。
・外部委員より指摘のあった卒業生の支援体制に関して卒業生の動向をより多く確認できる体制を強化し、就職先の企業と連携を図っていくこととした。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

| 名　前 | 所　　属 | 任期 | 種別 |
|---|---|---|---|
| 安部 喜方 | 株式会社花門フラワーゲート　専務取締役 | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年間） | 企業等委員 |
| 芹澤 尚義 | 公益社団法人千葉県獣医師会 | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年間） | 企業等委員 |
| 小林 正希 | 株式会社 COREZON　取締役　副社長 | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年間） | 企業等委員 |
| 根本 美輝 | 株式会社ベイエフエム | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年間） | 学校関連企業 |
| 長谷川 大 | 株式会社ニッセイアド | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年間） | 学校関連企業 |
| 黒川 智洋 | 株式会社スワット　代表 | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年間） | 学校関連企業 |
| 冨田 祥史 | 卒業生代表 | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年間） | 卒業生 |
| 鈴木 唯花 | 卒業生代表 | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年間） | 卒業生 |
| 船倉 千代子 | 近隣住民代表 | 令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年間） | 近隣住民 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ）・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　））
URL：　https://www.aik.ac.jp/information.html
公表時期：　令和7年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

・定期的な企業訪問を実施して学校の現状報告、新設コースや新規授業等の情報提供をすると共に、学校概要と就職関連情報が一体となった刊行物を動植物企業に配布し学校運営の現状を把握していただく。
・ホームページにて各情報の公開を行う。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|---|---|
| （1）学校の概要、目標及び計画 | 学園の経営方針、学校の教育目標、学校の歩み、所在地、連絡先 |
| （2）各学科等の教育 | カリキュラム、学校行事、学生数、退学率 |
| （3）教職員 | 教職員数、講師数 |
| （4）キャリア教育・実践的職業教育 | 進路指導、卒業後の進路、主要検定合格率 |
| （5）様々な教育活動・教育環境 | 施設・設備、SAM活動（授業外の学生活動） |
| （6）学生の生活支援 | 遠隔者支援、アパート斡旋、危機管理 |

| | |
|---|---|
| (7)学生納付金・修学支援 | 納付金に関すること、就学支援金、授業料免除、奨学金 |
| (8)学校の財務 | 学園の財務状況 |
| (9)学校評価 | 自己評価の結果、学校関係者評価の結果、改善方策 |
| (10)国際連携の状況 | 留学生受け入れ |
| (11)その他 | |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(　　))

URL:　https://www.aik.ac.jp/information.html

公表時期:　令和7年6月30日

# 授業科目等の概要

| | （　文化・教養専門課程 動物管理科トリマーコース　） | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 1 | ○ | | | 犬学 | ①犬の起源・生態・ライフサイクル。<br>②畜犬団体によるグループ分け・様々な犬種の犬種特性・スタンダード・沿革。<br>③犬体名称・用語・被毛・耳のバリエーションと特徴。<br>④家庭で犬を飼育管理する為の基本的知識と犬種特性に合わせた管理方法。<br>上記の事を学び、様々な犬種への理解を深めその特徴にあった扱い方の違いを知る。 | 1通 | 40 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 2 | ○ | | | トリミング理論 | トリミング実習と連動して実技を行う上での座学的内容を、前もって覚えることによって実技でのデモンストレーション及び実践作業がスムーズに行えるように学ぶ。その他、トリミングを行う犬種について深く知識を取得する。 | 1通 | 40 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 3 | ○ | | | ネコ学 | 猫の歴史や品種の特徴、行動学なども学び、猫に関する知識を広く学習する | 2通 | 28 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 4 | ○ | | | ペット健康管理学 | トリミング、ペットショップ、動物病院での病気を早期発見できるように学ぶ。 | 2通 | 28 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 5 | ○ | | | トリマー概論 | ＪＫＣ業務をはじめ、血統書の知識、各種ライセンス資格規定を学び、JKC　C級ライセンスを目指す。 | 2通 | 70 | 4 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 6 | ○ | | | 愛犬飼育管理論 | ①愛犬飼育管理士の認定条件を満たす為の知識。<br>②犬のプロとして必要とされる知識（法律知識・犬の生態・犬種ごとの特徴など）<br>②お客様に寄り添った、円滑なコミュニケーションを取る為の知識。 | 1後 | 28 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 7 | ○ | | | しつけ行動学 | 犬のプロとして必要とされる知識。飼い主様方に寄り添ったアドバイスがご提示出来るように、現代社会における犬の飼い方・仔犬の育て方・商品知識などを学ぶ | 1前 | 26 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 8 | ○ | | | ペットサロン概論&商品知識 | 美容室、ペットホテル、生体販売等のサロンに関わる知識を学ぶ。グルーミングに必要な犬の扱い方や保定の知識やサロンやショップにおける受け方などの接客術を学ぶ。ワクチン等の予防接種についての知識やサロントリマーとして必要な病気や消毒などの知識を学ぶ。 | 1通 | 39 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 9 | ○ | | | ＰＥＩＡブロンズ演習 | 肉球ケア・アロマバス（芳香浴）・タラソセラピー（泥パック）・ネイルカラーの講義と実習。犬と人との癒しのテクニックを学ぶ。 | 2前 | 84 | 5 | | ○ | | ○ | | | ○ | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | ○ | | | ＰＥＩＡシルバー演習 | タラソセラピー・アロマバスなどを復習しながら、ビビットカラー（オシャレカラー）・アロマセラピー・カラーレストレーション（若返りカラー技術）犬のアンチエージングを学ぶ。 | 2後 | 84 | 5 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| 11 | ○ | | | ドッグトレーニング | 犬の飼育経験がない学生も、社会に出れば経験年数に関係なく顧客からは「犬を扱うプロ」として認識される。在学中にトレーニングの基礎となる授業を展開し、その中での観察を通し、犬の行動に興味を持ち、机上での犬の扱いではない、床面での扱いや犬本来の行動などを学び、力ではなく陽性強化を用いたトレーニング方法を理解することを目的とする。 | 1後 | 39 | 2 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| 12 | ○ | | | サマートレーニング | 前期学んだケネル＆ラムクリップを一人で仕上げることにより、後期へのステップにし、また後期より本格的に始めるベアカットを学ぶことを目的とする。 | 1後 | 18 | 1 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| 13 | ○ | | | グルーミング実習 | ブラッシングからシザーリングまでの作業を反復練習する事によって、確実かつスピードのある技術を身に付ける。後期は犬種によるクリッピング、シザーリングの違いについてデモを通して学び、実際に作業する事によって身に付け、理論から応用までを幅広く学ぶ。 | 1通 | 516 | 17 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 14 | ○ | | | グルーミング実習２ | 1年次に学んだ基本的な技術を基礎に、多種多様なペットカットへ応用する。それぞれの犬種に合わせたペットカットスタイルを学び、ＡＡＶサロントリマー検定1級を1つの目標として、技術取得の為の実習を行う。一般モデル犬やブリーダー外部犬を用いる事で、接客や対応法、時間を意識した技術等を学ぶ。 | 2通 | 504 | 16 | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| 15 | ○ | | | 業界インターンシップ | 動物病院やペットショップ、動物関連施設にてインターンシップを行い、現場のサービスを学ぶ。 | 2後 | 150 | 5 | | | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| 16 | ○ | | | パソコン | Windowsの基本操作を理解し、学生生活でも社会人になっても役に立つWord文書作成、及びExcel表計算の基本機能や操作方法を学ぶ。また、情報化社会を生きる上で必要とされるネット利用のマナーの習得・情報検索を一部の講義と演習を組み合わせて実施する。 | 1前 | 26 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 17 | ○ | | | ビジネストレーニング | ビジネス・マナーの基本スキルの確立と応用マナーの学習。参加・実習型訓練形式。 | 1後 | 16 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| 18 | ○ | | | 就職ガイド2 | 動植物業界で求められる人材の育成。企業インターンシップや就職活動での必要な知識を身につけ内定へと繋げる。 | 2前 | 20 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 19 | ○ | | | 自己理解＆就職ガイド | 個人が協調しあう「社会」にでるために、まずは自分自身を知る自己理解が重要です。この自己理解がしっかりできていれば、自身の進むべき方向性が把握でき、他者との協調がよりスムーズになります。そこでこの科目では下記3点を目的とし、1年生前期で自己理解を深めます。①自己理解の3つの方法を身につけ、人間力の土台となる自己理解の能力と自信を高める。②自分の個性について、より広くより深く理解する。③知識、能力面を含めて自分自身に自信を持って語るための自己分析シートを作成する。 | 1通 | 26 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 20 | ○ | | | コミュニケーション | 社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を身に付ける。 | 1通・2通 | 55 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| 合計 | | | | | 20 科目 65 単位( 1701 単位時間) | | | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|---|---|---|
| 卒業要件： ①該当年度の履修単位を取得すること。<br>②1年次30単位(800時間)以上、卒業時に総単位数62単位(1,700時間)以上を修得していること。 | １学年の学期区分 | 2 期 |
| 履修方法： 全科目必修 | １学期の授業期間 | 15 週 |

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。